

健康で楽しく安全に利用するために

秋田市の小・中学生は

健康を守るために

友達などとの情報
通信(メール等のやりとり)
は、午後9時までと
します。

楽しく利用するために

悪口は書き込みま
せん。他の人が嫌な
気持ちになる使い方
はしません。

安全に使うために

自分や友達の個人
的な情報(画像、氏名
など)は、ネット上
にのせません。

保護者は

- ・ スマホやインターネットに接続できるゲーム機、音楽プレーヤーなどを買わせる場合は、親子のルールをつくり、文章化し、守ることを約束させます。
- ・ フィルタリングを必ず利用します。
- ・ 子どもの利用状況の把握に努めます。
- ・ 子どもが困っていたら、すぐに相談にのり、必要があれば学校に連絡します。

学校では

- ・ 道徳の時間や特別活動、技術・家庭科の授業のほか、警察の方など、外部の講師を招いた「ネット安全教室」等、全教育活動を通じた情報モラル指導を行います。
- ・ 生徒会や学年、学級で、スマホやネットの利用のルールやマナーについて、子どもたちが主体となった話合いの場を設定します。

親子のルールづくりが大切です

【親子のルールづくりの例】

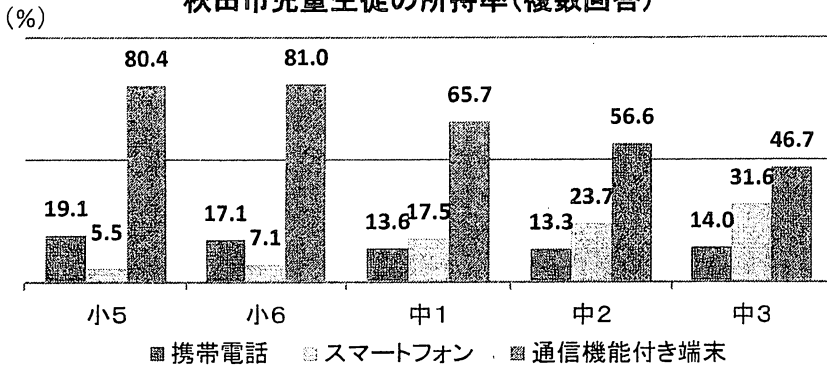
- ・ 平日は1時間、休日は2時間以上使いません。
- ・ 勉強中は電源を切り、集中できるようにします。
- ・ 食事をしながら、歩きながらなど、「ながらスマホ」はしません。
- ・ 自分の部屋では使いません。
- ・ 保護者に無許可で、有料サイトを利用しません。
- ・ ルールを守れなかったときの約束も決めます。

家庭と学校の連携が大切です

- ・ PTAの学年・学級懇談等で、わが子のスマホやネットの利用状況について話題にし、情報を共有することが大切です。
- ・ 学校が、情報モラル指導の取組やアンケート調査の結果等について、積極的に情報提供し、家庭と学校がトラブルの未然防止に向けて共に考えることが大切です。

家庭で、学校で、いっしょに考えよう

秋田市児童生徒の所持率(複数回答)

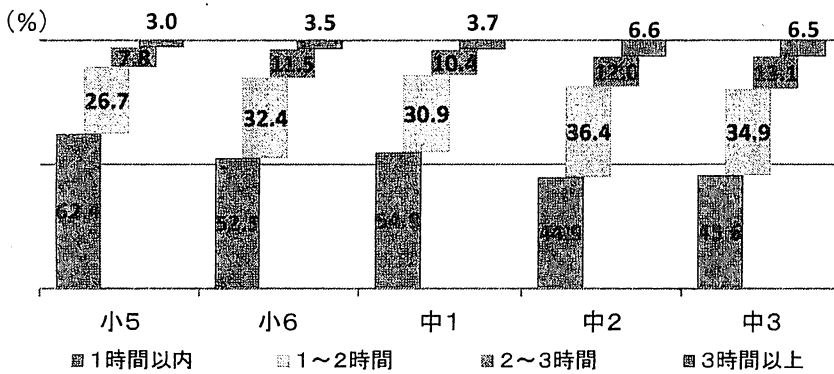


秋田市の多くの子どもたちが、スマートフォンや通信機能付き端末など、インターネットに接続できる機器を持っています。

※ 通信機能付き端末とは、インターネットに接続できるタブレット型PCやゲーム機、音楽プレーヤーなどです。

その子どもたちは

平日の利用時間

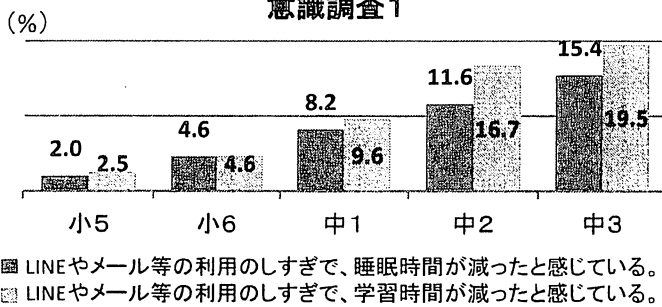


スマートフォンやゲーム機などを所持すると、長時間利用してしまう傾向があります。

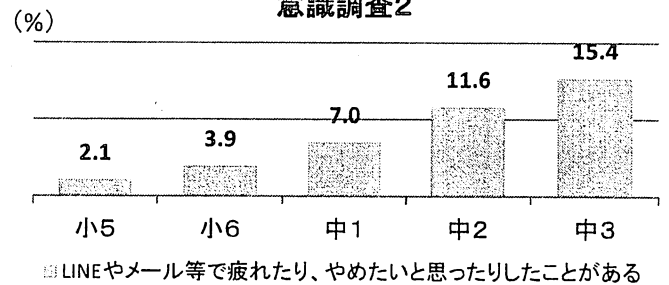
平日は1時間以内にするなど、時間を決めて利用する必要があります。

このように感じています

意識調査1



意識調査2



LINEやメールの使いすぎが生活に影響し、やめたいと思う子どももいます。

注) 所持率：携帯電話、スマートフォン、インターネット利用状況調査（H26年10月秋田県教育委員会）から
 利用時間・意識調査：平成26年度インターネット利用等に関する調査（H26年11月秋田市教育委員会）から

このようなネットトラブルが起きています

- ・ 学校内の人間関係のトラブルがもとで、ネット上に誹謗中傷する内容を書き込まれた。
 - ・ 自分だけが外され、新たなLINEのグループが作られる、いわゆる「LINEはずし」にあった。
- ※ LINE等のアプリは、ネットパトロールで問題を発見することができないため、対応が遅れてしまうことが多い。

- ・ 安易に友達のプライバシーに関わることを、書き込んだ結果、第三者によって、ネット上に友達の個人情報を流された。
- ・ 無料でネットに接続できる場所に集まり、ゲーム機で有料サイトを利用した結果、高額な料金を請求された。